

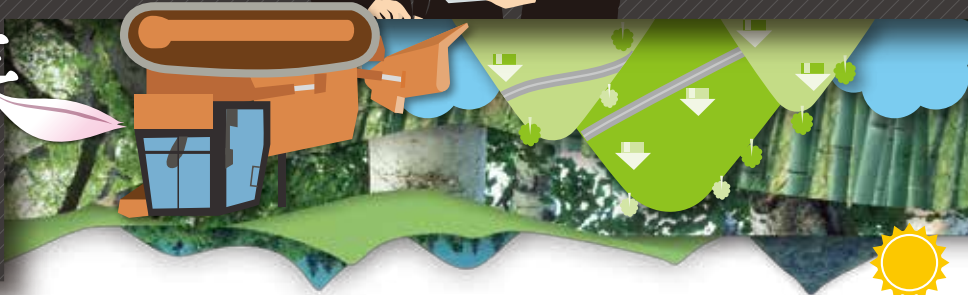
建設業実践講座

CS  
Construction Solution  
2017

春



~BIM/CIMデータのさらなる活用のために!~



会期 **4月20日 木** 10:00~18:00 (開場:9:45~)

会場 **株式会社大塚商会 本社ビル**  
東京都千代田区飯田橋2-18-4

●主催:株式会社大塚商会 ●協賛:オートデスク株式会社

参加費無料 / 事前予約制

会場のご案内

株式会社 **大塚商会 本社ビル**

住所:〒102-8573 東京都千代田区飯田橋2-18-4

- 交通:
- JR総武線「飯田橋駅」東口 徒歩6分
  - JR総武線「水道橋駅」西口 徒歩6分
  - 地下鉄三田線「水道橋駅」A2出口 徒歩8分
  - 地下鉄東西線/有楽町線/南北線/大江戸線 「飯田橋駅」A2出口 徒歩7分
  - 地下鉄東西線/半蔵門線/新宿線 「九段下駅」5出口 徒歩7分
  - 地下鉄半蔵門線/新宿線/三田線 「神保町駅」A2出口 徒歩8分

※ ご来場の際は、電車、バス、地下鉄などの公共交通機関をご利用ください。



お申し込みのご案内

お申し込み締め切り **4月18日(火) 必着**

WEB <http://www.otsuka-shokai.co.jp/event/region/17/cs2017s/> FAX 0120(48)0348

●**お申し込み** 貴社名(団体名)、ご氏名、ご所属部署名、お役職、ご住所、電話番号、FAX番号、メールアドレスおよびご希望のコース名を明記のうえ、上記ホームページ、または別紙「FAX専用お申し込み用紙」にてお申し込みください。  
※FAXで複数人数お申し込みの際は、恐れ入りますが、「専用お申し込み用紙」をコピーしてお申し込みください。

●**結果ご通知** 抽選の結果につきましては、お申し込みされた方全員に、FAXまたはE-mailにてご通知いたします。当選された場合は、お手元に届いたFAX受講証またはE-mail受講証(プリントアウト)がセミナー受講予約証となります。当日会場へお持ちください。  
 **抽選結果のご通知 順次お送りします**

●**ご来場当日** 当日は「セミナー受講予約証」を必ずご持参いただき、**3階 総合受付**にご提示ください。  
※混雑が予想されますので、総合受付での受付はお早めにお済ませください。各セミナーの開始は、開始10分前を予定しています。

◆お問い合わせ

株式会社大塚商会 CADプロモーション部内 CS2017春 事務局  
TEL:03-3514-7815 営業時間/9:00~17:30(土・日・祝日を除く) E-mail:cad-kensetsu@otsuka-shokai.co.jp

# セミナーのご案内

## Aコース ROOM 301

**A01** 11:00~12:00

### 自由な発想で建築アイデアを3次元化 小規模設計事務所での 構造BIM+意匠BIM活用事例

アーキテア建築研究所では「Autodesk Revit」と「ASCAL」などを駆使し、意匠設計から構造設計、設備設計、耐震診断まで一貫して対応できる設計環境をBIMにより構築しています。構造BIM+意匠BIMの活用により、コンペの成約率が約3割も増え、新規顧客の獲得にも成功しています。本セミナーでは小規模設計事務所ならではの構造BIM+意匠BIMの有効活用について、最近の事例を交えてご紹介いたします。

講師:有限会社アーキテア建築研究所 代表  
小林 裕和 氏

## Bコース ROOM 302

**B01** 11:00~12:00

### タブレット活用の決定版! 検査・点検システム「i-Reporter」の 新バージョンご紹介

建設現場・工場・保守メンテナンス現場での巡回点検、安全チェック、品質検査、業務日報などの業務を、タブレットを活用して効率化する「i-Reporter」。運用事例、導入効果とともに、簡単な帳票作成、分かりやすい操作、セキュリティなどの機能とともに、V6の新機能の導入をより簡略化できる「音声入力機能」、図面や写真に不具合箇所を指定する「ピン打ち機能」などもご紹介いたします。

講師:株式会社シムトップス 鯉江 大作 氏

## Cコース ROOM 200



## Lunch Break

**A02** 13:30~14:30

### BIMモデルを施工現場で徹底活用! 施工図会社による施工BIM活用事例紹介

M&F総合事務所では今まで施工図は2次元の図面で検討、チェックしてきましたが、BIMを取り入れることにより、各数量積算、干渉チェック、時間軸を加えた工程管理、立体的な仮設計画検討、工事ステップの確認を可能にし、現場職員・協力会社間でのイメージ共有、施工手順シミュレーション等により明確な施工戦略を組み立てることを可能としました。本セミナーではBIM導入経緯から運用方法、成果を事例を交えてご紹介いたします。

講師:株式会社M&F総合事務所 代表取締役社長  
守屋 正規 氏

**A03** 14:50~15:50

### BIMデータを効率的に管理・運用する オートデスクのクラウドサービス「BIM 360」

オートデスクでは、クラウドコンピューティングをBIMの分野に早くから導入し、ファイルの共有、クラウドレンダリング、解析などに活用してきました。昨年より2D図面と3D BIMモデルを安全に共有・管理できる「BIM 360 Docs」という新たなクラウドサービスを開始しました。「BIM 360 Docs」ではRevit/DWG/PDFデータの閲覧だけでなく、社内外の関係者への権限設定やプロジェクトの問題管理など、設計から施工プロセスの効率化を図ります。本セミナーでは「BIM 360 Docs」のご紹介に加え、「BIM 360 Team」、「A360 Drive」の違いもご紹介いたします。

講師:オートデスク株式会社 テクニカルスペシャリスト  
大浦 誠 氏

**A04** 16:10~17:10

### ~BIMによる建築生産プロセス改革~ BIM連携マネジメント手法のポイント

施工現場の生産性の向上には、建築生産プロセス改革が求められています。それには、BIMの活用、ICTの導入が必要不可欠です。BIMデータの活用には、どのようなデータをどのタイミングで活用するべきかが重要になります。そこでキーマンとなるBIMマネージャーに求められる職能とは何か?設計、施工、製造を通じたBIM連携の現状と将来性などについてご紹介いたします。

講師:清水建設株式会社  
生産技術本部 生産計画技術部 BIM推進グループ  
三戸 景資 氏

**B02** 13:30~14:30

### i-Constructionに即した 調査・測量の実際と 3Dデータの利活用事例

山梨県甲斐市に本社を置くハヤテ・コンサルタントでは、常に最新の技術を積極的に取り入れて業務を行っており、小型UAV測量で取得した3D点群データを設計業務に取り入れる手法は、既に3年前からダムの業務で実施していました。今回はそれら自社で培ったノウハウを基にi-Construction業務に即した測量、設計業務の最新の事例を紹介いたします。

講師:株式会社ハヤテ・コンサルタント 設計部  
北條 浩 氏

**B03** 14:50~15:50

### CIMガイドラインのための オートデスクソリューション活用術

CIMガイドラインで各工種において求められている3Dモデルは、Autodesk製品の「Civil 3D」、「Revit」、「InfraWorks」、「Navisworks」を使うことで対応することが可能です。そこで今回は具体的にAutodesk製品でどのように対応できるかの全体像をデモを織り交ぜてご紹介いたします。

講師:オートデスク株式会社 田村 弥生 氏

**B04** 16:10~17:10

### CIM/i-Constructionで 今すぐ使える3Dデータ活用テクニック ~測量・設計・納品データLandXMLの作成の流れ~

本セミナーでは、CIM/i-Construction業務ですぐに役立つテクニックと情報をお伝えします。UAVで撮影した写真データから点群データに変換後、「AutoCAD Civil 3D」に取り込んで設計データに活用。設計データを国交省で定められた納品形式であるLandXMLデータ形式に変換・修正するところまでの一連の流れをデモを交えてご紹介いたします。さらに写真から点群に変換するシステム(SiMソフト)の検証結果もご紹介いたします。

講師:株式会社ビッグバン 前田 博昭 氏  
株式会社大塚商会 弓場 洋子

**C02** 13:15~14:45

### IFCでBIMデータ統合を体験しよう! 「Solibri Model Checker」 (ソリブリー モデルチェッカー)体験セミナー

建設プロジェクトでは情報共有が必要です。さまざまなアプリケーションで作成された、意匠・構造・設備のBIMモデルを必ずどこかの段階で統合する必要があります。「Solibri Model Checker」にIFCを読み込み、統合されたデータから、何が出来るのか?設計品質、業務効率を向上させるBIMツール「Solibri Model Checker」をご体験ください。

講師:株式会社大塚商会 久保田 修史/石橋 紀幸



## 展示のご案内

コラボレーションデバイス	「Microsoft Surface Hub」	建築ビジュアライズツール	「Twinmotion 2016」
LandXML データの編集ソフト	「Bigvan LandXML Editor」	リアルタイムBIMビジュアライズソリューション	「FUZOR」
大規模3D点群編集ソフトウェア	「Wing Earth」	NVIDIA GRID 仮想GPU	「Microsoft Azure Nインスタンス」

※このほか、**完全予約制**としてVR体験コーナー、設備システムデモコーナーをご用意しています。ご興味がある方は担当営業までお申し込みください。